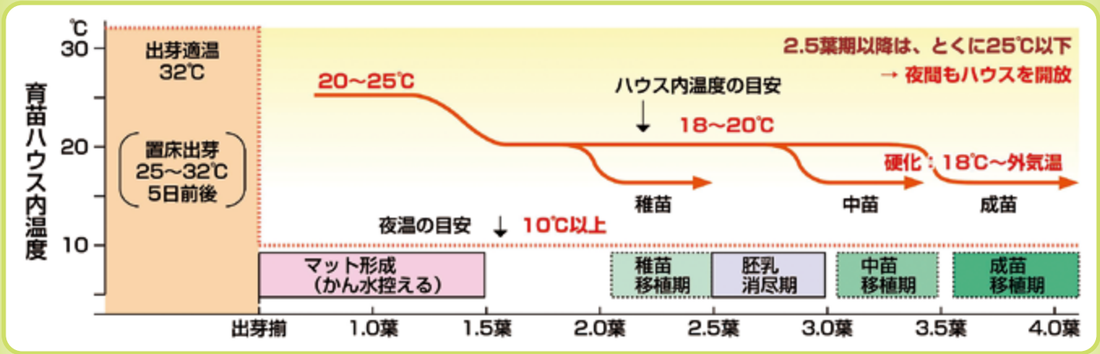
平成28年度 水稲育苗管理のチェックポイント

◆早期異常出穂の防止➡育苗後半はハウス開放で換気を徹底・育苗日数を延長しない（苗の老化防止）
◆「ばか苗病」の撲滅➡的確な種子消毒と環境衛生の徹底

健苗育成



育苗期間の温度管理

◆健苗育成のポイント：
- 第1葉鞘高が3cm以下になるよう、苗床の温度・かん水に注意する。
- 育苗後半（2.5葉期以降）のハウス内温度を25℃以上にしないよう、ハウスを開放して、換気を徹底する。

◆育苗日数の目安　：　中生品種は30～35日
（早生品種、早期異常出穂しやすい品種では育苗日数を延長しない）

早期異常出穂対策

◆早期異常出穂のリスクが低い苗形質は、草丈13cm以内、葉令は「ななつぼし」4.0葉以下、「ゆめぴりか」4.3葉以下、「きらら397」4.4葉以下である。
◆品種の早期異常出穂リスクの程度

→ リスク高（しやすい）

きらら397 ＜ ほしのゆめ ＜ ゆめぴりか ＜ ななつぼし ＜ 大地の星

表　早期異常出穂抑制のための苗形質と育苗管理の留意点
（成苗ポット苗）　（H26普及推進事項）

移植時苗形質	草　丈		10～13cm
	乾物重		3.0～4.5g/100本
	品種別目標葉数	きらら397（低）＊	3.6～4.4葉以内
		ゆめぴりか（中）	3.6～4.3葉以内
		ななつぼし（高）	3.6～4.0葉以内
育苗管理の留意点	育苗温度	簡易有効積算温度：400℃以内	
	管　理	2.5葉期以降は25℃以上としない。	
	育苗日数	中生品種は30～35日	

＊ 品種名の（　）は早期異常出穂リスクの程度

健苗・徒長苗

健苗		徒長苗
短い 広い	葉身 葉幅	長い 細い
太い	茎	細い 下葉黄化
多い 白い	根量 根色	少ない 茶褐色等

活着が早く、植え傷みせず分げつ発生が早い。

活着が遅く、分げつ発生が遅い。穂揃いが悪い。

ばか苗病対策

◆自家採種は保菌リスクが高い　→　採種圃産種子を使用
◆的確な種子消毒・浸種・催芽の実施　→　消毒効果の維持
◆未消毒種子や由来・消毒法が異なる種子を一緒に浸種しない。
◆ばか苗病発生圃場のワラ・籾殻・米ぬか・粉じん等は伝染源
　→種子予措作業場・育苗ハウス周りに伝染源を入れない。

◆苗床での発病苗はポット育苗ではポットごと、マット育苗では発病苗周辺も含めて土ごと抜き取る。（できればマット苗はマットごと廃棄）
◆抜き取った苗は、土中に埋める等、的確に処分する。

多発したばか苗

北海道／道総研農業研究本部／ホクレン／北集／北海道米麦改良協会

H28.3　米No.10